

来場者増加、防犯の関心高まる

警備保障タイムズ2025年7月21日号より



展示会場を視察した大阪警協・池田博之会長（左）と大防設・平野理事長（大阪警協理事）

「SECURITY SHOW 大阪 2025」（主催：日本経済新聞社、テレビ大阪）が7月10・11日、インテックス大阪（大阪市住之江区）で開催された。併催した4展示会と合わせて前年比82%増の1万7834人が来場。防犯への関心の高さを感ぜさせた。大阪府防犯設備協会（大防設・平野義富理事長）の

やシステムを展示した。ガードアックス（大阪市淀川区・奥谷直輝代表取締役）のブースでは「警備らくらく管理システム」を紹介。管制業務、日報・発注書・請求書の自動作成・送信、給与計算などを行う警備業務専用のクラウド型システムだ。奥谷代表取締役は「私自身が警備現場から管制まで多くの業務を行い、その経験をもとに開発しています」とアピールした。メディカルフォース（東京都品川区・島中翔一社長）は管制、上・下番、給与計算、請求まで警備業務を一括管理できるオールインワンシステム「警備フォース」を紹介した。

セフトHD
「両陛下：提灯奉迎」を警備

セフトHD（広島市、山根和社長）は6月19日、ひろしまゲートパーク（広島市）で開催された「天皇皇后両陛下 提灯奉迎の集い」（主催：天皇陛下御下幸迎広島県委員会）の警戒警備業務を行った。

セフトHDは県警から指名を受けて警備会社として唯一、同警備に参加した。13レーン設置した会場入口、口で金属探知機を使用し、危険物の持ち込みがないよう入念に確認。声掛け・手荷物検査を行うボランティアスタッフと連携をとりながら、約5000人の入場者をチェックした。

山根社長（前列中央）と警備を担当した皆さん（セフトHD提供）



ガードアックスのブース



講師を務めたJ.E.A.S.・稲本会長



メディカルフォースのブース

同ブース内ではALSO K、シブタニ、NOVAQエンジニアリング、J.E.I.の4社がセキュリティ製品を紹介した。

アイセキュリティ（東京都新宿区、榎野晴信社長）は顔認証機能を備えた防犯カメラ「Lucics（ルシックス）」を展示。登録した不審者を検知すると音声やライトで威嚇する。同社・油一郎事業本部部長は、大防設のセミナーで「最先端のカメラエッジAI」と題した講演を行った。

（瀬戸雅彦）